

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1029.00	2022/2/7
High	1059.00	2022/2/11
Low	1008.00	2022/2/8
Close	1031.30	2022/2/11

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3809.00	2022/2/7
High	3943.00	2022/2/11
Low	3738.00	2022/2/8
Close	3825.00	2022/2/11

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2291.00	2022/2/7
High	2351.00	2022/2/11
Low	2178.50	2022/2/7
Close	2309.73	2022/2/11

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	8490.00	2022/2/7
High	8734.00	2022/2/11
Low	8056.00	2022/2/7
Close	8567.00	2022/2/11



ニュースエクスプレス

BASFとヘルス、中国でジョイントベンチャーによる最新技術の貴金属リサイクル

ドイツのBASF社とヘルス社は50%ずつの出資で、廃車の自動車触媒から貴金属を取り出してリサイクルを行うジョイントベンチャーを設立すると発表した。

BASF HERAEUS (China) Metal Resource Co., Ltd となる法人は2022年第1四半期中に関係省庁の承認を経て中国平湖市に設立され、工場の建設は年内、操業開始は2023年の予定。

中国国内のPGM、主にプラチナ、パラジウム、ロジウムからなる白金族金属は豊富とは言えず、ほとんどを輸入に頼る。廃車の浄化触媒装置などから金属を回収しPGMを取り出すことは、いわゆる循環型経済の促進となり、リサイクルされた貴金属は自動車、化学産業、電子材、グリーン水素産業などで新たな製品の製造に使われる。またリサイクルされた貴金属は、鉱山で生産された精錬金属よりも多い時には90%も低いカーボンフットプリントを持つなど環境への負荷が低い。中国国内でリサイクルによる貴金属を供給することは持続可能な将来へ近づくと一歩となるだろう。

<https://www.basf.com/global/en/media/news-releases/2022/02/p-22-135.html>

ノリリスクニッケル、2021年の本業による利益37%増

ノリリスクニッケルは2月10日付で、金属価格の高騰と2020年からのパラジウム在庫の売上で、2021年全体の本業による利益が37%増加したと発表した。

パラジウムと高品質ニッケルの生産高では世界最大を誇る同社は、金利・税金・償却前利益(EBITDA)が、前年の77億ドルから105億に増加したとしている。

昨年同社の北極地方の二つの鉱山は、浸水のため数ヶ月間操業停止で減産。また昨年2月には処理工場で事故があり生産に影響した。

オクチャプリスキー鉱山は5月半ばに全面的に回復したが、タイミルスキー鉱山とノリリスク選鉱場の回復は12月までかかっている。

同社の2021年の純利益は69億7000万ドルで前年の92%増。

金属価格の高騰に加え、前年比15%増の179億ドルとなった収益は、2020年に蓄積したパラジウムの在庫の売上によるとした。

<https://www.nasdaq.com/articles/nornickels-core-earnings-jumped-37-in-2021>

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- エリザベス女王即位70周年を祝うにふさわしい国立造幣局発行のプラチナジュビリープラチナコインコレクションが発表された。詳しくは「プラチナ豆知識「まさしく女王のためのコイン」(2022年2月9日)」をご覧ください。<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2022/02/09>

- 精錬プラチナの生産量は2021年に大幅に増えたが、それはPGMバスケット価格の上昇に乗じて鉱山生産を増強した結果と捉えられている向きがある。しかしこの増産のほとんどは2020年の新型コロナ感染症の拡大によって中断した生産が回復した分で、しかもその大部分はACP在庫のバックログ処理による。ACP在庫の残りは今年前半に市場に出回ると見られるが、鉱山の精錬プラチナ供給がコロナ以前のレベルに回復するのは2024年までかかる。詳しくは「プラチナ展望 2022年1月号①バスケット価格上昇にもかかわらず、プラチナ鉱山供給がコロナ以前のレベルに戻るのは2024年」をご覧ください。https://platinuminvestment.com/files/832395/WPIC_Platinum_Perspectives_January_2022.pdf

- アングロ・アメリカン・プラチナムによればACP在庫の「大部分」は予定より早く2021年に精錬加工されたとしており、これによって、2021年の余剰予測は増えるが2022年の余剰は減ることになる。詳しくは「プラチナ展望 2022年1月号 ACP半加工在庫処理の前倒しで、2021年の供給余剰予測は増加するも2022年の余剰予測は減少」をご覧ください。[https://platinuminvestment.com/files/944584/WPIC_Platinum_Perspectives_January_2022\(Faster%20unwind%20of%20semi-processed%20backlog%20reduces%202022%20surplus\).pdf](https://platinuminvestment.com/files/944584/WPIC_Platinum_Perspectives_January_2022(Faster%20unwind%20of%20semi-processed%20backlog%20reduces%202022%20surplus).pdf)



(@wpicjapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。